

# 岐阜市サポートブックについて

令和4年5月23日、27日

岐阜市役所 障がい福祉課

# サポートブックとは？



○お子さんの成長の過程や幼児支援教室など、各支援機関での相談や支援の記録などを整理しておくためのノートブック。

○お子さんに関わる人にお子さんのことを理解してもらい、安心して社会生活を送ることができるようにするための支援ツール。

# 就学するにあたって…

- 保護者が伝えておきたいお子さんの様子を記入し、支援者側に正しく理解してもらい、お子さんが少しでもスムーズに学校生活を送れるような手助けに。
- 夏の就学相談会や就学时健診の際にも、ぜひ活用を。

# 《サポートブックの内容》

- ①発達やアレルギー等 身体状況などの基本情報
- ②コミュニケーションに関すること
- ③福祉サービスの記録
- ④日常の様子
- ⑤集団生活の様子
- ⑥落ち着かないときの対応
- ⑦困ったときの記録
- ⑧相談と支援の記録
- ⑨保護者の記録



“支援者に伝えておきたい” 項目から記入していきましょう。

# (記入例)

特記事項は、該当項目に対して保護者が伝えておきたい内容や、以前はできなかったが、できるようになったという記録などを記入。

## 5 集団生活の状況

項目	し点	特記事項
会話になりにくい		
一方的に話す	し	こちらに注目するよう促してから、ゆっくり指示を出すと話が聞ける。
思いつくとしゃべらずにはいられない	し	簡単なルールを決めて事前に伝えておくことで、待つことができる。
目の前にいる相手の気にしていることを平気で指摘する		
初対面の大人に平気で話しかける		
発音がはっきりしない	し	「さ行」が、やや不明瞭。言語のリハビリに通い、徐々にはっきり発音できるようになってきた。

# (記入例)

どのようなことで困って、  
『どのような支援が必要か』を  
具体的に記入しましょう。

## 6 落ち着かないときの有効な対応方法

起きやすい場面	<ul style="list-style-type: none"><li>• 初めての活動を行う時</li><li>• 初めての場所へ行く時</li></ul>
様子・状況	初めてのことに對する緊張や不安が強く、参加することを嫌がったり、固まってしまう。
対応方法	事前に、活動内容や行き先を伝えたり、練習しておくことで、安心して参加することができる。

# (記入例)

幼児支援教室等の利用記録の他、  
診察や発達検査の記録を記入して  
おきましょう。

## 8 相談と支援の記録

相談・療育・ 訓練機関名	年齢	利用期間	内容
エールぎふ (診察)	6歳	R2.7.5	自閉症スペクトラムの疑い。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 目の前にモデルがあると、理解しやすく、安心して取り組める。</li><li>• 長い文章での指示理解が苦手な為、文章を区切って説明すると、伝わりやすい。</li><li>• 「事前に説明する。」、「一緒に練習する。」、「しばらく観察してから参加することを認める。」などの配慮があるといい。</li></ul>

# 記入の際は…

- 幼児支援教室に通っているお子さんは、担当の先生に相談し、意見を聞いたり、フォローしてもらいながら、進めていく。
- 通園・通所先の先生、主治医、担当のリハビリの先生から意見を聞くなど、お子さんの現在の状況を確認しながら記入していく。



# ◇差し込んでおくとよい資料◇

- サービス等利用計画・障害児支援利用計画  
モニタリング報告書

(児発や放デイ等の福祉サービスを利用のお子さんと、相談支援専門員が作成する書類)

- 個別の教育支援計画

(通級、特別支援学級、特別支援学校等に在籍のお子さんと、学校が作成する書類)

- 個別支援計画

(福祉サービスを利用のお子さんと、事業所が作成する書類)

- 支援機関等からもらった資料

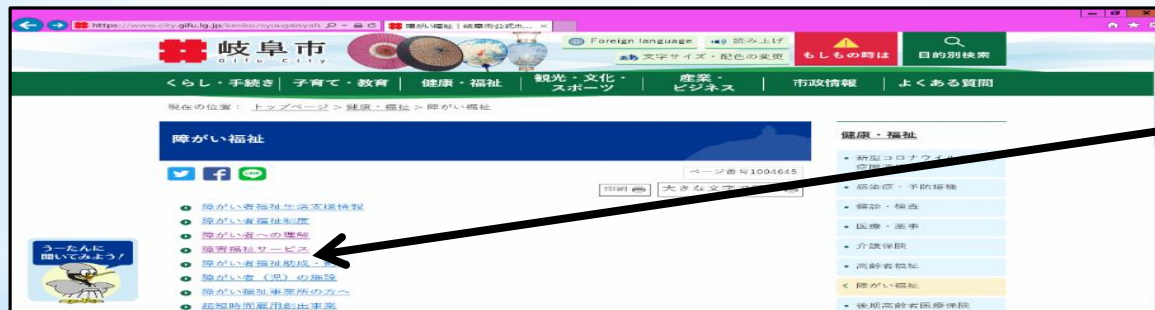
(発達検査の結果、医師の診断書の写しなど)

# サポートブックの用紙は、岐阜市のホームページからダウンロードして追加することができます！



1.車いすマーク  
(障がい福祉)  
をクリック

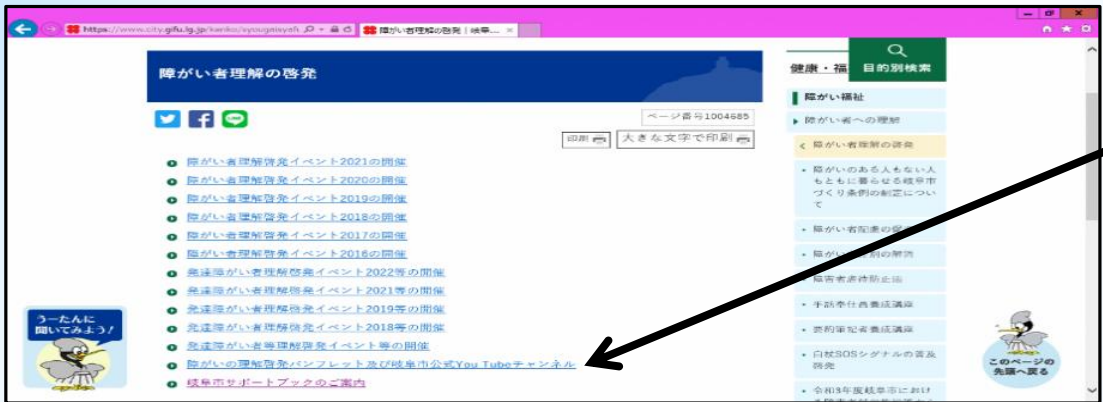
2.障がい福祉を  
クリック



3.障がい者の理解を  
クリック



4.障がい者理解の  
啓発をクリック



5. サポートブック  
のご案内



6. PDF形式と  
WORD形式の  
2種類から選択

用途に応じて必要な書式を印刷して、  
差し加えることができる。

\* お子さんの状況を伝えることが周囲の理解に繋がる。

\* 『サポートブック』を支援ツールとして活用し、周囲の理解と支援、そして連携に繋げていく。

お子さんが、安心して、楽しく学校生活を送るための手助けに…

